

運動部活動の存在意義

D1班

1. 背景と目的

背景

中学校・高校において運動部の厳しい実態、休養日の少なさが社会問題に

部活動を廃止にすべきという声も

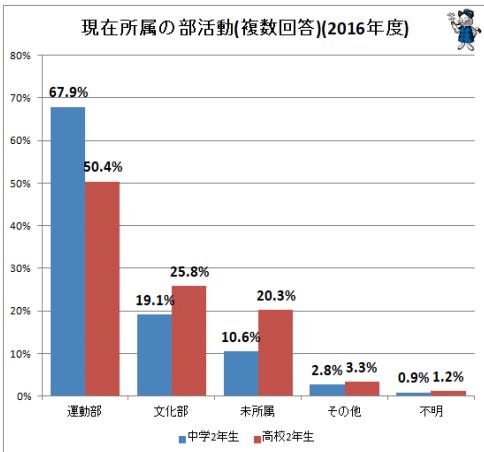
Q 運動部の存在意義、入るメリットは？そもそも必要なのか？

目的

様々な視点・切り口から部活動の存在意義を確認し、部活動は必要なか必要ではないのか、また必要であった場合、どのような改善が求められるのかを考察する。

2. 運動部活動の現状

半数以上の生徒が運動部に加入しているが近年は減少傾向にあり、特に女子生徒の減少が著しい。2016年度の運動部加入率は中学校で67.9%、高校で50.4%と学年が上がるにつれて減少している様子が見えてくる



3. メリット・デメリット

○メリット

- ・体力の向上や健康増進につながる。
- ・スポーツの楽しさや喜びを味わうことができる。
- ・仲間との出会い、人間関係の広がり。
- ・礼儀、他者とのコミュニケーションを学べる。
- ・目標達成に向けた取り組みの重要性について学ぶことができる。



◎デメリット

- ・休養日が少なく、自分の時間を確保しにくい
- ・勝利至上主義に偏った指導
- ・顧問の種目に対する専門知識、指導技術の不足
- ・生徒のニーズに応えきれない活動や指導
- ・保護者や地域の期待の多様性にこたえきれない活動

6. まとめ・結論

改善策

部活動は必要！！

- ①外部コーチの活用
- ②ハイシーズン、オフシーズンの設定
- ③週休二日制
- ④活動時間の是正

4. 取り組み

仙台市でも、部活動の課題・あり方について議論し、その適切な運営について各学校に依頼している。

運営・組織イメージ

現行

学校教育活動

・教員の監督下において活動

・外部指導者は補助的役割 (顧問不在時には活動できない)

・保護者は、必要に応じて送迎等のサポート

目指す姿

学校教育活動+地域活動

・顧問、指導者、保護者による「保護者の会」を組織し、協力、連携しながら活動できる組織・体制を整える。

保護者や地域指導者が部活動運営により積極的に関わる

5. 結果・考察

現状

運動部への加入率は、近年減少傾向にある

- ・顧問の種目に対する専門知識、指導技術の不足
- ・生徒のニーズに応えきれない活動や指導 等

一方で多くのメリットも

運営の改善が必要

課題をクリアした適切な運営へ

参考文献

政策研究大学院大学 教育政策プログラム 石原 剛

「運動部活動がもたらす効用の要因分析

—愛媛県の高等学校を対象として— 2012 年

国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査」 2018年

仙台市公式ホームページ「部活動における教員の負担軽減について」

https://www.city.sendai.jp/shomushokumu/kurashi/manabu/kyoiku/kaigi/documents/02_h28_02_bukatudou.pdf

(最終閲覧日 2019/11/5)